

寄島の魅力を発信しよう！

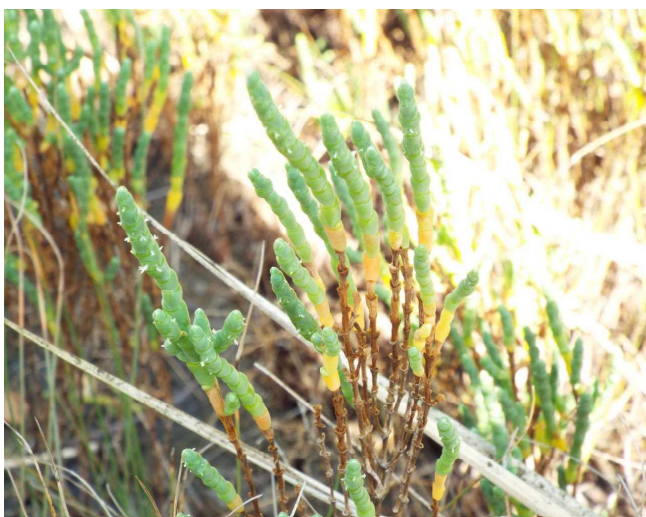
令和2年度寄島小学校5年生 総合的な学習の時間

(**アッケシソウ**) グループ

アッケシソウ 北半球にはえている植物で、分類はヒユ科。塩分をふくむ湿地を好む。



寄島は本州唯一の自生地です。



アッケシソウは、水やりや肥料は必要なくて塩分が肥料代わりにになります。

アッケシソウの花は、9月の初めに咲きます。白くて小さな花です。

私たちは、特別な許可をえてアッケシソウを食べさせてもらいました。味は、しょっぱかったです。

アッケシソウの一生

アッケシソウは、1月から2月頃発芽します。

3月から8月にかけてたくさんのびます。

大きなものは40cmのものもあります。

9月の初めごろ白い花がさきます。

10月初旬から紅葉が始まります。

10月20日を過ぎてから紅葉の最盛期がきます。

11月になるとかれて種を落とします。

種が1月ごろからまた発芽します。



寄島小学校の5年生がアッケシソウの見学に行った時に許可をとって花粉をとりました。理科の時間に顕微鏡で見ると、アッケシソウの花粉はブーメランみたいな形でした。



これは紅葉の最盛期で、とてもきれいなアッケシソウです。ぜひ行ってみてください。

(笠岡の干拓地にもアッケシソウが生えていますが、それは寄島のアッケシソウの種をまいて、植え広がったそうです。)



遊水池には「ボラ」という魚がいるそうです。水鳥も集まるそうです。

アッケシソウは紅葉しますが、実は葉ではなくて茎が紅葉しているのです。

アッケシソウと海の関係

アッケシソウは塩分をふくんでいる湿地を好むので、海の近くでないとアッケシソウは生えません。塩分をふくむ土地には生えている植物が少なくて、アッケシソウが生きのこった理由です。

アッケシソウの見学に行きました。



アッケシソウについて、アッケシソウを守る会の花房会長に教えていただきました。

A地区では、遊水池とアッケシソウなどの、きれいな風景を見ることができます。





アッケシソウをもっと近くで見たい方は、C地区に行ってみるといいと思います。歩道が整備してあるので、アッケシソウを間近で観察することができます。

アッケシソウの保護活動をしました。



アッケシソウQ&A

Q アッケシソウは、どこから紅葉するんですか？

A アッケシソウが紅葉が始まるのは、生育環境が悪いところから紅葉が始まります。

Q 寄島のアッケシソウと北海道のアッケシソウは、どのようなちがいがあるのですか。

A 寄島と北海道のアッケシソウのちがいは、DNAがちがいます。大きさもちがいます。寄島と北海道のアッケシソウの最大のちがいは、北海道は、人工栽培。寄島も北海道までではないけれど害虫くじょなどいろいろ工夫をしています。キバガという害虫がいます

番外編



この写真の赤い草は、ハママツナです。ハママツナは、アッケシソウとは区別が付きにくいですが、アッケシソウと同じヒユ科です。とてもきれいです。

茶色いのは、紅葉が終わったアッケシソウです。



まとめ：本州唯一のアッケシソウの自生地を守っていきたいと思いました。

【参考】アッケシソウを守る会作成のパンフレット
花房会長にいただいた資料